



キタキチョウ



ショウジョウバカマ

始める頃ころとされておられ、ことしは3月5日から始まります。
ねいの里の周辺でも、キタキチョウ

はまだ感じませんが、虫たちは季節の変化を感じ取っているのです。
（田中純）

目覚め始める命

昔から日本では一年を24の期間に区切った曆れきがあり、この曆により自然や四季の変化を知り、農作業や生活に役立ててきました。
その区切りの一つが「啓蟄けいちち」です。「冬ふゆもりをしてきた虫たちが、春あしたけの暖かさを感じて地上に姿すがたを現し

ウなどのチョウの姿を見かけるようになり、虫をエサにするヤマアカガエルやニホンアカガエルなどのカエルたちも目覚めてきます。虫たちのために蜜みつを与えるショウジョウバカマやキンキメザクラなどの花も咲きはじめ、たくさん命が徐々に目覚め始めます。
私たちの肌はだ